



### ■東京都庭園美術館

所在地: 東京都港区白金台5-21-9  
 構造: 鉄筋コンクリート造2階建(地下1階)  
 建築面積: 1048.29㎡  
 延床面積: 2100.47㎡  
 建設: 1933年  
 改修: 1983年、1995年  
 設計: 宮内省内匠寮工務課  
 内装デザイン: アンリ・ラバン(Henri Rapin 1873-1939)  
 イヴァン・レオン・ブランショ  
 (Ivan-Léon Branchot 1868-1947)  
 ルネ・ラリック(René Lalique 1860-1945)  
 施工: 戸田組(現在 戸田建設)  
 施工期間: 1931年4月~1933年5月

— 経緯 —  
 1922.10 朝香宮鳩彦王 軍事研究のためフランスに留学  
 1925 パリにて現代装飾美術・産業美術国際博覧会(通称アル・デコ博覧会)が開催される  
 朝香宮鳩彦王、妃殿下と共に博覧会を視察  
 同年 両殿下帰国  
 1928 朝香宮邸基本設計開始(宮内省内匠寮工務課)  
 1929 アンリ・ラバンに設計を依頼  
 1931.04 着工  
 1933.05 竣工  
 1947 皇籍離脱のため朝香家は住まいを熱海に移す  
 1947年以降、外務大臣・首相公邸・迎賓館などとして使用された後、美術館として生まれ変わる



<http://www.toda.co.jp/sekkei-bunkasai/>

第1回 戸田建設設計文化祭  
**建築が好きだ229**

**229**  
 2007.8.6.mon-11.sat

第1回 戸田建設設計文化祭  
**建築が好きだ229**

会場 ● 東京都庭園美術館 新館小ホール  
 時間 ● 10:00~20:00 (最終日は18:00まで)  
 主催 ● 戸田建設株式会社 建築設計統轄部  
 協賛 ● ヤマギワ株式会社  
 カラーキネティクス・ジャパン株式会社  
 リンテック株式会社

### 第1回 戸田建設設計文化祭 開催にあたり



戸田建設株式会社  
 執行役員  
 建築設計統轄部長  
 阿部 利裕

「ものづくり元年」、これが今年の戸田建設建築設計統轄部の合言葉です。  
 忙しい中、よりよい設計を目指して日々活動しております。大事なことは、いくら忙しくても元気をなくさないことであり、そこで企画したのが今回の「設計文化祭」です。  
 全設計部員が参加し、様々な話し合いを通してコミュニケーションを図り、自分たちの手を動かすことによって自然と元気が湧いてきます。  
 活動は若手主導で行ってきました。目指すところは、元気な集団としてのものづくりに打ち込むという原点に立ち返ることです。

### 建築が好きだ229 タイトルに込めた想い

「建築が好きだ」ということ。  
 ものづくりに元気に打ち込む姿勢の根源にあるもの。好きな物事に対しては労力を惜しまず没頭し、意欲的に前進し、更なるステップアップに大きな喜びを感じます。  
 「全員参加」であること。  
 今回、戸田建設設計文化祭を企画する上で大前提として掲げられたキーワードです。  
 現在、戸田建設建築設計統轄部には本支店で229名の部員が所属しており、その全員が参加し、話し合い、考え、自らものづくりすることで個人が、部内が、更には社内が活性化することを期待して「229」に大きな意味を持たせています。  
 こうして「ものづくり元年」の象徴でもある今回の設計文化祭のタイトルが選定されました。  
 展示空間においては全設計部員が一人一人の個性を表現した作品をつくり込みました。その建築が好きだ229名の個性の集合体を体感することで戸田建設建築設計統轄部のカラーを垣間見ていただけることと思います。

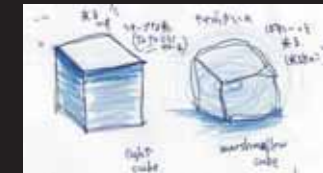
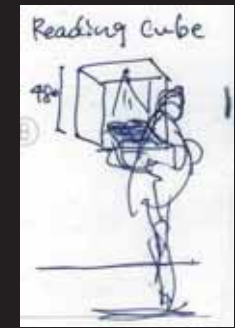


## ■ Area-II

### プロジェクト展示

回廊状にゾーニングされたこの細長いエリアには戸田建設建築設計統轄部が近年計画した、或いは計画中のプロジェクトを展示しています。

壁一面に配置された短冊状のフォーマット中の1コマ1コマに設計者の想いが詰め込まれています。またこのエリアにはArea-III、IVへのアプローチとしての役割があり、その先へ、その隣へという期待感を引き出すような誘導空間としての演出をしています。



## ■ Area-III

### ものづくりの想い「継承」

このエリアにはスケッチや設計機関誌・新建築-戸田特集号、模型や壁面映像を配置しています。

ご覧頂く方々がくつろぎ、雑誌を読んだり、椅子に腰掛け映像を眺めたりする中で戸田建設建築設計統轄部員のものづくりに対する姿勢や想いを感じて頂くことを目的としています。

また、Area-IVへのメインゲートが開かれており、キューブ229の織りなす幻想的な空間を垣間見ることができます。



## ■ Area-I

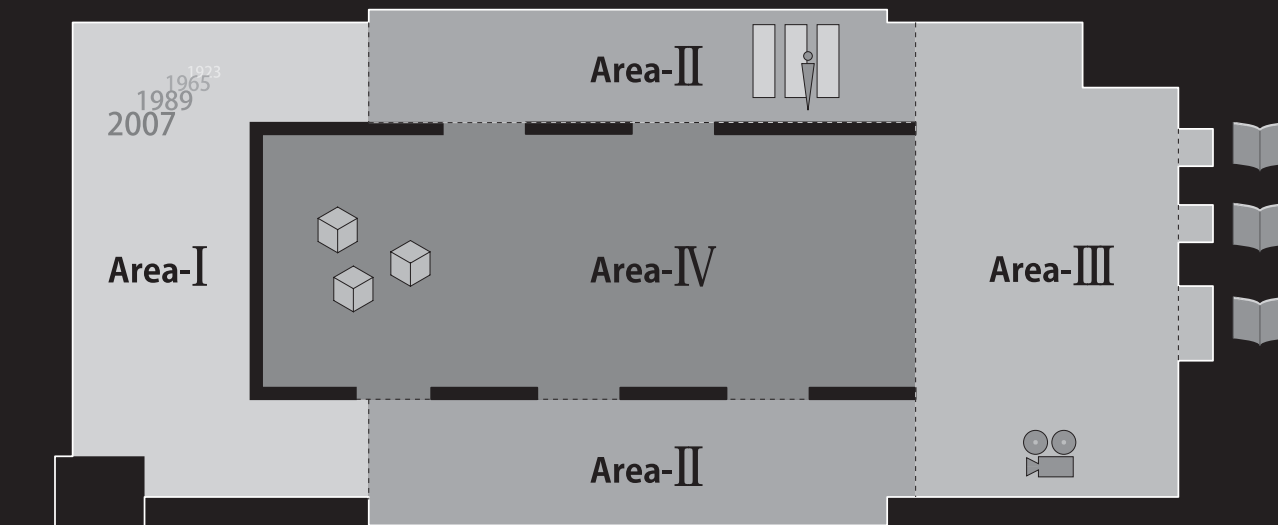
### TODAガイド 1923-2007

戸田建設建築設計統轄部の概要を知っていただくためのエリア。イントロダクションとしてこれまでの代表物件を時系列でご案内します。

また更に、当社の保有する技術の紹介や全設計部員の顔写真を展示しています。どういう人が、どういう技術で、どういうものをつくってきたかをこのエリアで知って頂くことを目的に自己紹介的な位置付けで空間構成しています。



## 第1回 戸田建設設計文化祭 建築が好きだ229 AREA MAP



## ■ Area-IV

### キューブ229

展示会場の中央に配置されたエリアには戸田建設建築設計統轄部229名の個人作品が展示されています。「『私の色』-COLOR-」をコンセプトに全設計部員が各々自分の個性を120角のアクリルキューブに表現しています。この空間に光を受けて浮遊するキューブを上下左右から眺めたり、手に取ってみたりすることでそれぞれの個性を、更にはその集合体としての当設計部のカラーを感じて頂ければと思います。

